

協力者に配布する説明書

協力者に配布する説明書（1）

※協力者が死体を梱包する場合には以下の確認を依頼する

- 三重包装で密閉して下さい。
- 液体の滲出防止のため吸水剤、新聞紙や紙タオルなどを詰めて下さい。
- 保冷剤、パックされた氷などを発泡スチロールまたはプラスチックボックスに詰めて搬送して下さい。
- 搬送前に必ず搬送先の担当者に電話連絡して下さい。

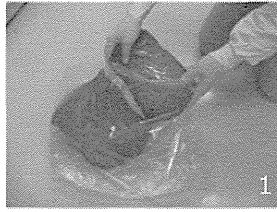
送付先xxxxxxxxxxxxx
xxxxxx部xxxxxxxxx
電話番号 xxx-xxx-xxxx
E-mail xxxxxxxx@xxxxxxx.jp

協力者に配布する説明書 (2)



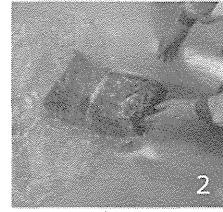
動物死体のつもり

手袋をして作業する（緑の袋は動物死体の代わりです）。



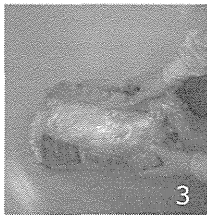
1

チャック付きまたは手持ちの厚手のビニール袋などに入れる。



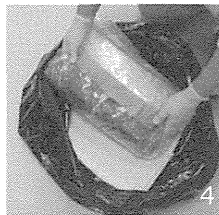
2

さらに厚手のビニール袋に入れる。爪などで袋が破れそうな時は新聞紙などでカバーする。



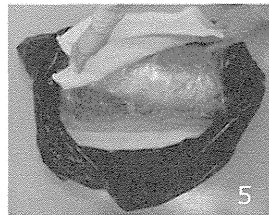
3

ガムテープで口を閉じる。



4

吸収剤（ペットシートなど）を敷いたビニール袋に入れる



5

もう1枚の吸収剤をかぶせて動物を挟むようにする。

協力者に配布する説明書 (3)



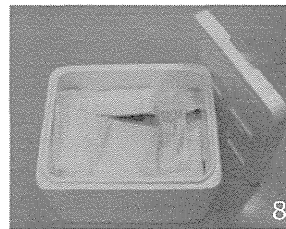
6

吸収剤を発泡スチロール箱の底に敷く。



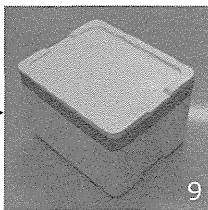
7

保冷剤、バック氷などを置く。
ドライアイスは使わないで下さい。



8

吸収剤を上から敷いた後、記入したデータ用紙を置く。



9

フタを閉め周りをガムテープで閉じる。

⇒ 指定された場所（剖検実施地）へ輸送。

研究班の班会議(平成15年12月17・18日)の解剖・検査実習で使用した器具・試薬等のリスト 1

解剖			単価概算
解剖保定台	Rabbie II(要相談)	1	20,000
解剖保定台(部品購入として)	* 別ページに詳細記載	一式	4,500
木槌	盛光(直径48mm)	1	1,000
骨ノミ(板状ノミ)	日新EM(解剖器具)	1	6,500
あるいは、 骨ノミ(T字ノミ)(使いやすいが板状ノミに比べ高い)	日新EM(解剖器具)	1	9,600
はく皮刀	夏目製作所 H-14	1	10,000
のこ本体	KAKURI スーパー技工 専用 グリップ	1	900
のこ替刃	KAKURI スーパー技巧 210 塩ビ・アクリル用替刃 コード 41145	1	900
結束バンド(インシュロック)	タイトン AB300-W 耐候性(黒)	100本入	2,000
ディスプレイガウン	エスアールエル アイソレーションガウン JANコード4520069050229	1ケース	11,000
ディスプレイキャップ ディスプレイマスク ディスプレイグローブ	(S,M,L)		
炊事用手袋	ナイスハンド(家庭用手袋)(L or M)	1	300
フェイスマスク	簡易シールド面 型番YF-800L	1	1,500
長靴カバー	オーバーシューズ 品番044-41394	1箱	20,000
吸水シート	フォローマット60cm×90cm コード004-41729	1袋	3,000
消毒薬	パコマ	1缶(1L)	3,000
ペーパータオル キムワイブ	キムタオル 4つ折り 製本番号61000		
25ml 遠心管	2362-025	1箱(500本)	16,000
ベンチコート	検査材料等の飛沫吸収用に作 業領域全域に敷く ワットマン 2300-772	1ロール	30,000
ピンセット			
ハサミ			
メス			
薬さじ			
シャーレ			
ステンレストレー等			

※単価は、平成26年12月17日における概算である。

研究班の班会議(平成15年12月17・18日)の解剖・検査実習で使用した器具・試薬等のリスト 2

脳組織のスタンプ

無蛍光スライドグラス(3well)	アッセイスライド 11mm 3ウェル MS31BL 0.5グロス	1	9,000
舌圧子	星盛堂 スター舌圧子滅菌済み 200入り	1	1,600
ハサミ			
ピンセット			
トレー	スライド置き		
鋭利器具滅菌用捨て缶	金属弁当箱など		
ペーパータオル	キムタオル 4つ折り 製本番号61000		
キムワイブ			
滅菌用捨て缶			
滅菌バッグ			
消毒用アルコールスプレー			
シャーレ			

研究班の班会議(平成15年12月17・18日)の解剖・検査実習で使用した器具・試薬等のリスト 3

アセトン固定

冷アセトン(-20℃)	試薬特級	1	600
染色バット	Posi, Nega, Sample用 各1		
トレー	スライド置き		
キムタオル			
ピンセット			
-20℃冷凍庫			

※単価は、平成26年12月17日における概算である。

研究班の班会議(平成15年12月17・18日)の解剖・検査実習で使用した器具・試薬等のリスト 4

標識抗体の反応、洗浄

FITC標識抗狂犬病抗体	FITC Anti-Rabies Monoclonal Globulin, Fujirebio Diagnostics, Inc. 201 Great Valley Parkway Malvern, PA 19355 U.S.A. (25倍希釈の使用で、100ul/wellとして約1,250 well相当)	1	90,000
1% エバンスブルー溶液			
湿潤箱(蛍光抗体反応用)			
リン酸緩衝液(PBS(-))			
抗体希釈用チューブ			
マイクロピペット等			
チップ等			
リン酸緩衝液(PBS(-))			
蒸留水			
染色バット	Posi, Nega, Sample用	各2	
PBS入り洗浄ビン			
キムタオル			
キムワイプ			
廃液の捨て缶			
ピンセット			
トレー	染色バット、廃液捨て缶、スライド置き		

研究班の班会議(平成15年12月17・18日)の解剖・検査実習で使用した器具・試薬等のリスト 5

封入、蛍光顕微鏡で観察

封入材(10%グリセリン-PBS(pH8.4))

カバーガラス 24 x 60 mm

トレー スライド置き

マイクロピペット等

チップ等

落射型蛍光顕微鏡 (FITC 検出用のフィルターを使用
可能であれば、赤色検出用フィルター付)

※単価は、平成26年12月17日における概算である。

研究班の班会議(平成15年12月17・18日)の解剖・検査実習で使用した器具・試薬等のリスト 6

その他

オートクレーブ

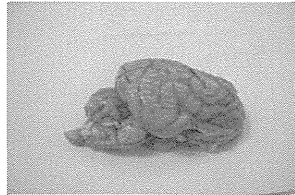
安全キャビネット

* 保定台材料リスト(部品購入として)

品名	サイズ	単価	個数	小計
天板	17×300×450	1,180	1	1,180
脚	35×83	298	4	1,192
ビス		180	1	180
スペーサー	200×45×14	75	1	75
プレート	180×30×2	680	1	680
ボルト	M10×80	264	2	528
ナット	M10	63	2	126
マルザ	M10	14	2	28
パネザ	M10	14	2	28
チョウナット	M10	199	2	398
			合計	4,415

※単価は、平成26年12月17日における概算である。

頭部の解剖と脳の採材

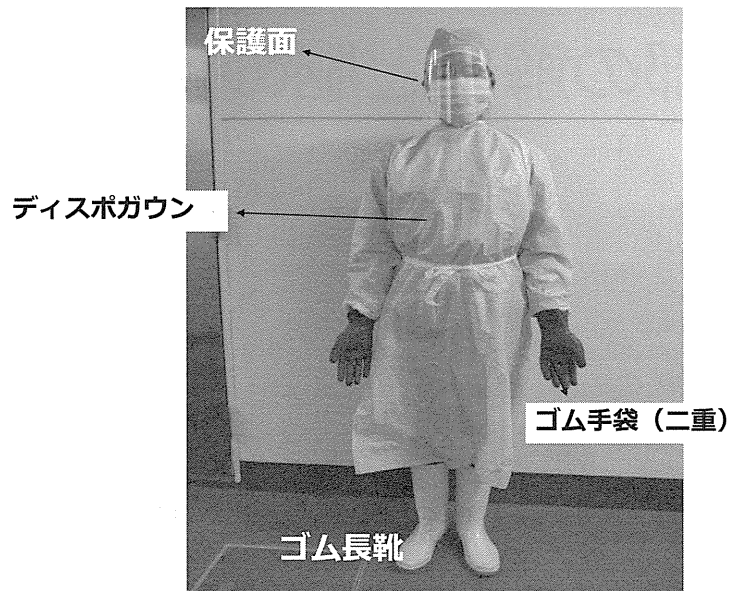


動物の狂犬病モニタリング
調査手法に係る緊急研究班

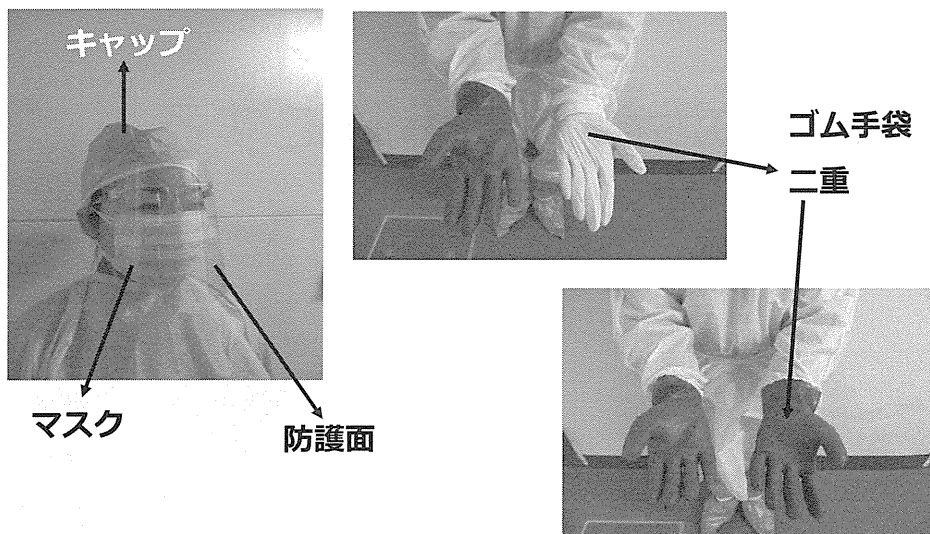
- 個人防護（PPE）で安全に解剖。
- 環境の汚染を最小限にする。



個人防護（全体）



個人防護（顔・手）



作業環境の留意点

- 換気の良い部屋
- 解剖に十分なスペース
- 安定した解剖台
(既製解剖台、ステンレス製台、木製机等)

✓解剖台にベンチコートやビニールシート等を敷くと解剖後の廃棄や後始末が容易です。

✓解剖台に流れ出た血液を吸収できるペットシート等は汚染の拡大を防ぐのに便利です。

解剖室の事例 - 1 (東京都)



解剖・切出し用器材

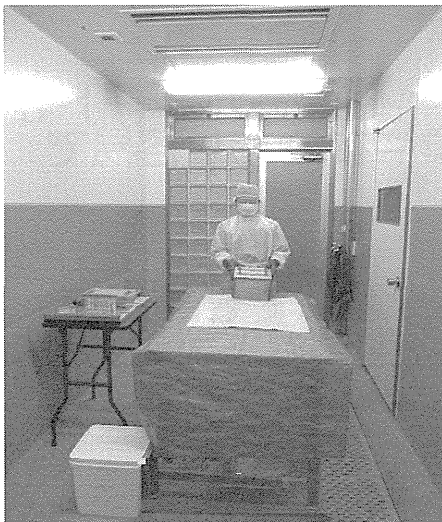
簡易保定器

解剖台をビニールシートで覆う

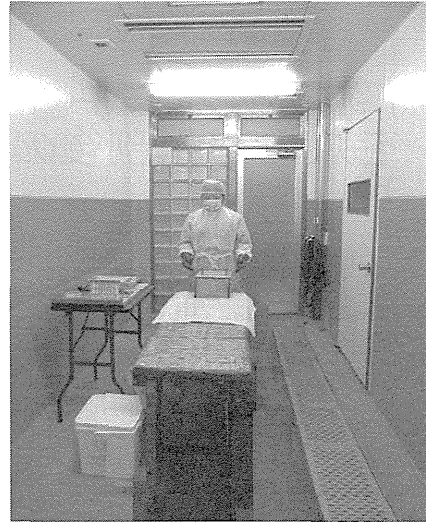
汚物廃棄容器



解剖室の事例 - 2

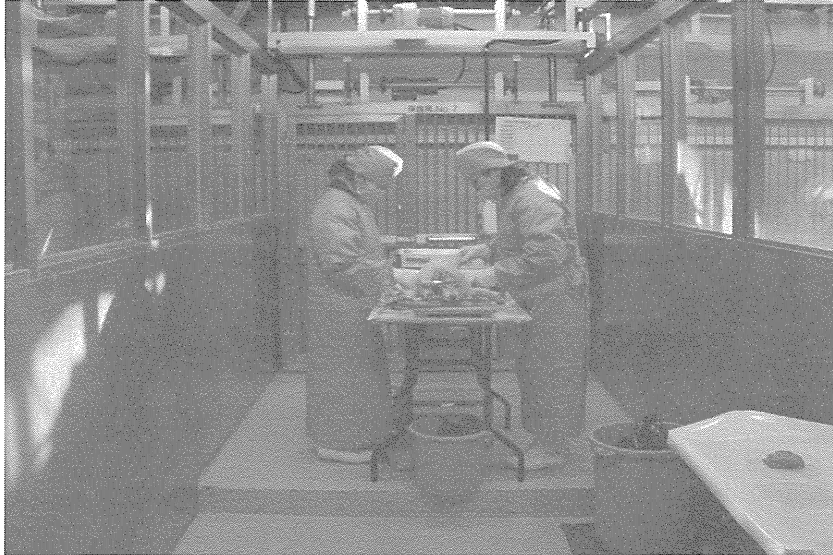


▲犬舎にステンレス製台を設置



▲犬舎に木製折りたたみ机を設置

解剖室の事例 - 3

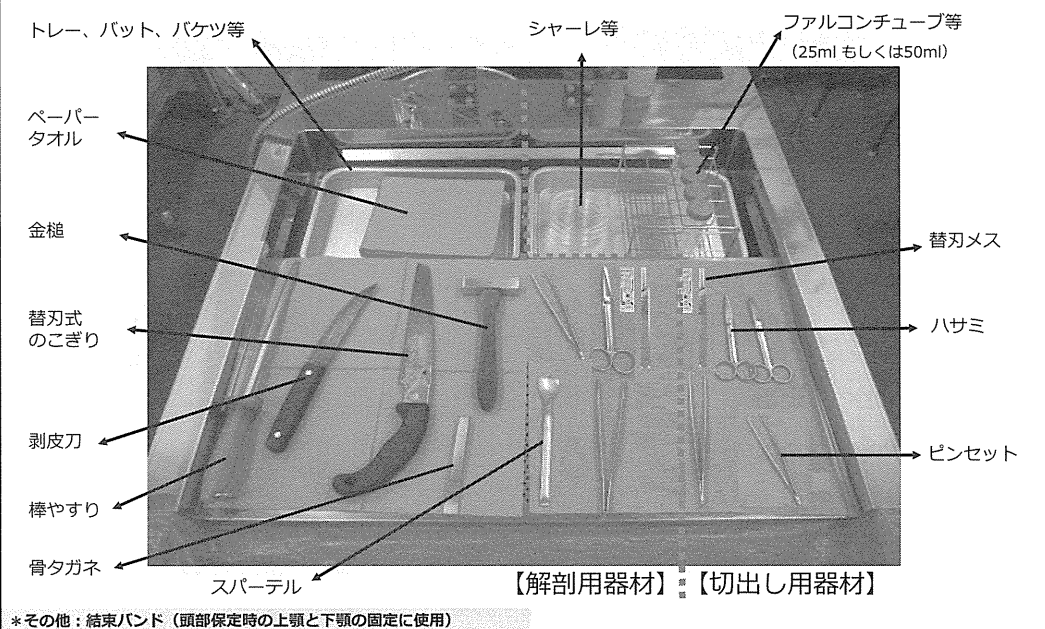


▲犬舎に木製折りたたみ机を設置 (徳島県提供)

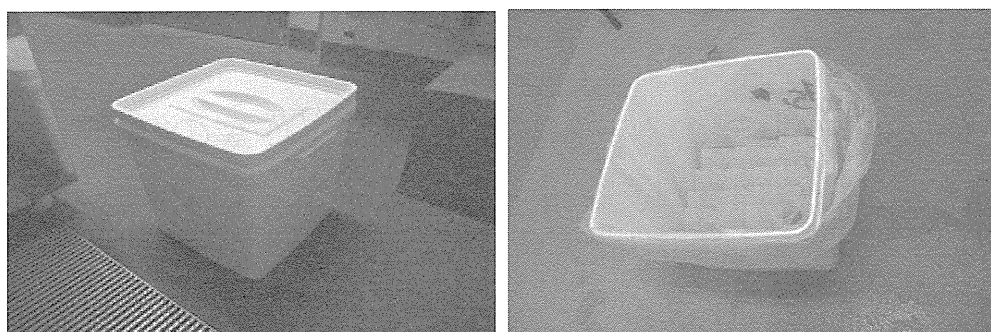
解剖を始める前の準備

- 必要な器具のみを解剖台に準備 (作業の簡素化)
- 使いやすい使用器具の配置 (トレイ等を使用)
- 使用器具を漬け込む消毒液 (環境の汚染を防止)

解剖・切出し用器材（同等品を推奨）



検体等を廃棄するための容器



- ビニール袋を入れたバケツ等を準備する。
- 検体を入れる袋（容器）は二重以上にする。
- 廃棄の時に汚染した手袋で袋の外側を触れない。

解剖の実際

狂犬病検査に必要な解剖方法（DVD参照）

◇安全で簡便な脳の取り出し方の1例 Ver.1

・平成18年度厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症研究事業

◇安全で簡便な脳の取り出し方の1例 Ver.2

・平成21年度厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症研究事業

製作：狂犬病のサーベイランス及び診断に関するワーキンググループ

解剖の前に再確認！

1. 個人防護（PPE）
※ グローブ、ガウン、マスク、防護面など
2. 頭部の保定台（佐藤式RabbieⅢ等）
3. ベンチコート等
4. 剥皮刀、メス、鋏、摂子、スパーテル
5. 鋸（アクリル用を推奨）、ノミ、槌など
6. 採材した脳を入れる容器
7. 廃棄用のゴミ袋等

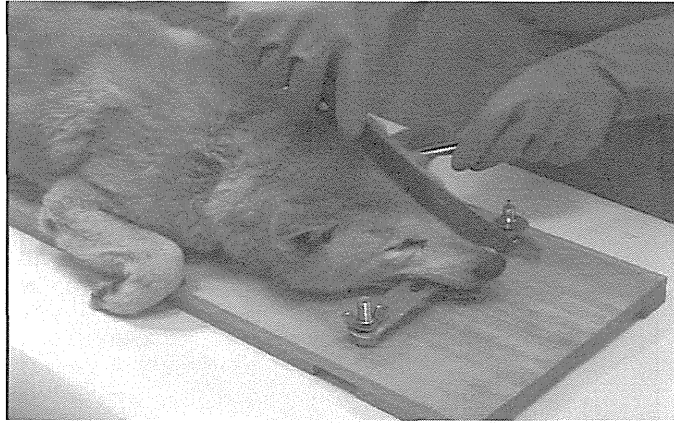
解剖の手順

1. 保定
2. 剥皮
3. 筋肉の除去
4. 頭骨の切断
5. 脳の取り出し
6. 廃棄
7. 退出

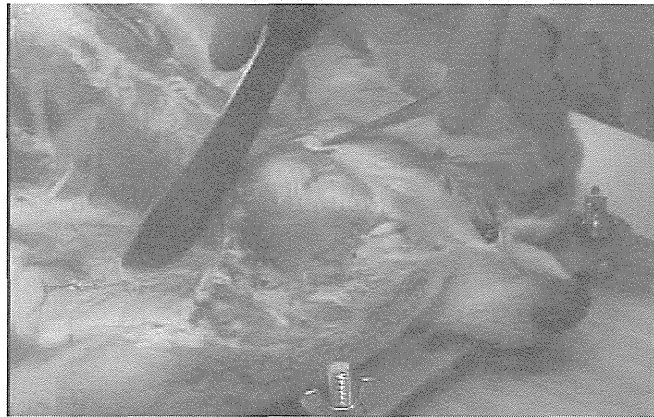
保定



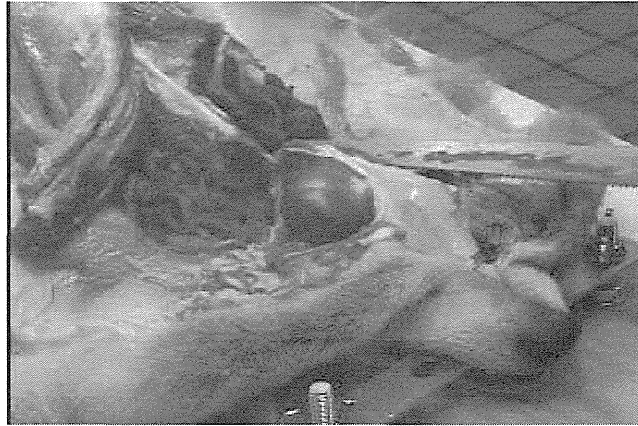
剥皮



筋肉の除去



頭骨の切断



※ 頭骨の切断するときには鋸を入れる部位の目安（赤い線）

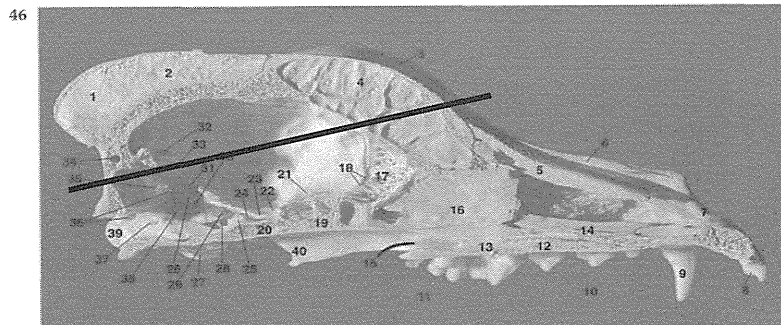


図46 イヌの頭蓋の正中断面

1 頭頂間骨	11 後臼歯	21 視神経管	31 小脳幕
2 頭頂骨	12 上顎骨口蓋突起	22 眼窩裂	32 禽性小脳テント
3 前頭骨	13 口蓋骨水平板	23 前翼孔を通して見る正円孔	33 横洞溝
4 前頭洞中隔	14 篩骨	24 卵円孔	34 横静脈洞管
5 鼻骨	15 鼻竇道	25 楔骨	35 乳突孔【乳突上孔】
6 上顎骨	16 篩骨の骨徳鼻中隔	26 側頭骨岩様部	36 精管
7 切歯骨	17 篩孔をもつ篩骨篩板	27 側頭骨鼓室部	37 舌下神経管
8 切歯	18 篩骨孔	28 内頸動脈孔	38 頭静脈孔
9 犬歯	19 前蝶形骨体	29 三叉神経管	39 後頭骨
10 前臼歯	20 底蝶形骨体	30 内耳道	40 翼状骨

脳の取り出し



廃棄



※ 器具が検体と一緒に廃棄されないように注意！

退出

